

令和元年6月16日現在

機関番号：14201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K02864

研究課題名(和文) 20世紀前期の帝国日本における教養の知と技をめぐる実学リテラシー研究

研究課題名(英文) Cultural Studies on Higher Commercial Schools

研究代表者

阿部 安成 (ABE, Yasunari)

滋賀大学・経済学部・教授

研究者番号：10272775

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：わたしたちの調査研究は、おおよそ20世紀前期を中軸として機能した高等商業学校(以下、高商)を対象として、その史料の所在を明確にし、かつ史料それ自体の歴史(由来や来歴)をも記録することによる史料の整備を目指し、そうした活動をとおして、高商において展開した学知を実学と教養という観点から考えることを目的とし、同校におけるカリキュラム編成、調査実習、就業の具体相をとらえながら、高商という実学をめぐる専門教育機関を、諸相において緊密なアジア圏が形成されてゆく19世紀末から20世紀中葉までの時代に位置づける試みをおこなった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

高商を個別に考えると共に比較の観点から、個別、差異、多様という諸相をふまえて高商という学知の総体を捉えようとする独自性を示し、外地も含めて高商がどういう圏域においてその意義と機能を考えられるか、正規の学課に加えそれ以外の講習を通して地域にどう貢献をしたのか、実学を旨としつつ教養を習得した実業実学青年がどう養成されたか、彼らがどういうライフヒストリーを生きたのか等をたどり、日本型雇用の典型という終身雇用とは異なる就業動向を生きた青年たちが就いた実務(business)と、彼らを養成した教育をめぐる教養(culture)とを、20世紀東アジアにおける日本の歴史として考え得るとの意義を持つ。

研究成果の概要(英文)： We have been ready for use the historical materials of Higher Commercial Schools as research materials. And we studied the curriculum, practical training, and employment trends of Higher Commercial Schools students.

研究分野：近代日本社会史

キーワード：日本史 教育文化研究 高等商業学校 実業実学青年 ライフヒストリー

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 先行する高等商業学校史研究は、その概要と制度展開の解明を主な内容としたり、学校史や大学史における通史の一節や前史として記述されたりしてきた。また、高等商業学校を母体とする国立大学法人経済系学部では、それぞれに元となる高等商業学校が収集した 20 世紀前期の東アジアの文献を旧植民地関係資料として目録化してきたが、高等商業学校が記録した文書や発行した図書や逐次刊行物の目録はほとんど作成してこなかった。

(2) 高等商業学校にかかわる史料をめぐっては、1980 年代から 1990 年代初頭にかけては同校が収集した同時代の文献が旧植民地関係資料として目録がつくられ、ついで 2000 年代に入って、滋賀大学経済学部での成果を嚆矢とする高等商業学校刊行物目録と同校の収集ならびに刊行史料の画像データベースの公開がおこなわれるようになった。高等商業学校史研究では、帝国大学とは異なる高等教育機関としての高商の独自性が、その具体相を実証する研究によって明らかにされつつあり、その独自性の 1 つにあげられた「満韓」経営をめぐっては、それを担う実務者養成の指摘や、同校による東アジアへの調査実習について個別論文による実証研究が示されてきた。

(3) 上記の動向を経て史料目録や史料画像データの公開が進められ、高等商業学校の調査実習、就業、設置をめぐる東アジアへの展開や、正規のカリキュラムとは異なる講習をとおした高等商業学校の地域貢献という課題が提示されてきた。

2. 研究の目的

本事業では、(1) 高等商業学校史研究の基礎としての史料整備を実施し、また、(2) 高等商業学校における修学と就業、(3) 高等商業学校における調査実習、(4) 外地における高等商業学校の活動と展開、についての具体相の実証研究を目的とした。

3. 研究の方法

本事業では、複数の課題をめぐり、調査 - 研究 - 報告とディスカッション - 公開という展開を実施することを方法とした。

(1) 高等商業学校史研究の基礎としての史料整備にむけて、国立国会図書館、京都府立図書館、長崎県立長崎図書館、長崎歴史文化博物館、長崎大学経済学部東南アジア研究所、滋賀大学経済経営研究所、同大学経済学部附属史料館、同学部同窓会陵水会、富山県立図書館、富山大学経済学部資料室、同学部同窓会越嶺会、一橋大学附属図書館において史料調査を実施した。

(2) 調査研究の成果や課題を共有するために、本研究グループ以外の研究者等とともにワークショップを開催し(2015 年 6 月、同年 8 月、滋賀大学彦根キャンパス) 滋賀大学経済学部プロジェクト科目「地域における歴史資料の保存と公開と活用の実践論」(2015 年 10 月～2016 年 1 月)を開講して学生向けに歴史資料をめぐる調査、整理、保存などについての実習をおこない、研究協力者による学会報告を実施した(今井綾乃「官立高等商業学校教育における人格養成：彦根高等商業学校本科の「哲学概論」と「文化史」をめぐって」、第 89 回日本社会学会大会、2016 年 10 月、九州大学)。2019 年 2 月には、本事業のひとつの総括としてのワークショップを開催した(滋賀大学彦根キャンパス)。

(3) 作成した資料目録、資料紹介、研究ノート、論文といった調査研究の成果を公刊し、そのほとんどを、一橋大学と滋賀大学のホームページをとおして公開した。

4. 研究成果

(1) 地元新聞の報道などを活用して、学校の記念誌には抜けている学校創設期の動向を、複数の高等商業学校について把握し、また、滋賀大学において第二次世界大戦後の新制大学創設期の大学文書を確認した。

(2) 複数の高等商業学校における、生徒の調査実施状況、カリキュラム編成とその理念、精神、学知について明らかにした(研究協力者今井綾乃による論文「官立高等商業学校教育における人格養成：彦根高等商業学校本科の「哲学概論」と「文化史」をめぐって」『彦根論叢』第 409 号、2016 年、pp.16-32、査読無、を含む)。

(3) 複数の高等商業学校同窓会史料を調査し、その目録を作成するとともに(彦根高等商業学校同窓会陵水会所蔵史料目録、未発表)彦根高等商業学校については、生徒の就業動向をデータ化した(未発表)。

(4) 高等教育機関とアジアについての論点、近年の高等商業学校史研究についての論点を書評

として示し(研究協力者今井綾乃の書評「長廣利崇『高等商業学校の経営史：学校と企業・国家』有斐閣、2017年」『びわ湖経済論集』第17巻第1号、滋賀大学大学院経済経営研究会、2018年、pp.87-92、査読無、を含む)また、高等商業学校の台湾における動向の実証研究をまとめた(研究協力者横井香織の単著『帝国日本のアジア認識：統治下台湾における調査と人材育成』岩田書院、2018年、214ページ、を含む)。

(5) 調査研究成果の公開として、特筆すべきは、滋賀大学経済経営研究所が所蔵する、彦根高等商業学校が収集した「旧植民地関係資料」を、国立公文書館アジア歴史資料センターとのシステム連携により、同センターのホームページをとおして検索できるようにしたことである(2017年2月開始)。また、史料公開の一端として企画展示を開催した。

なお、わたしたち研究グループによる本事業は、高等商業学校史研究の近年の成果である、長廣利崇『高等商業学校の経営史：学校と企業・国家』(有斐閣、2017年)において、「研究文献一覧」(同書303ページ)にとりあげられた。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計15件)

杉岳志、修学旅行報告書からみえる明治20年代の高商と高商生、一橋大学附属図書館研究開発室年報、査読無、No.6、2018、pp.6-01-1-6-01-21

<http://doi.org/10.15057/29416>

杉岳志、明治32~33年の内国実践科調査報告書について、一橋大学附属図書館研究開発室年報、査読無、No.5、2017、pp.18-27

<http://doi.org/10.15057/28659>

坂野鉄也、東京高等商業学校・商科大学における「グルント」：「座談会 一橋社会学の七十五年」(『一橋論叢』第24巻第5号(1950年11月)所収)を読む、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.271、2017、pp.1-22

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No271.pdf>

坂野鉄也、谷本富の「新人物論」における商業道徳論：中島力造、ジョージ・トランブル・ラッドとの比較、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.263、2016、pp.1-22

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No263.pdf>

坂野鉄也、高等商業学校「商業道徳」科の素描：「商業家」のための倫理とは、滋賀大学経済学部研究年報、査読無、Vol.23、2016、pp.59-78

http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/nenpo/Vol23_2016/banno_vol23.pdf

坂野鉄也、青柳周一、須永知彦、阿部安成、私の教育実践/プロジェクト科目「地域における歴史資料の保存と公開と活用の実践論」、彦根論叢、査読無、No.408、2016、pp.66-67、72-73

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/Ronso/408/banno&aoyagi&sunaga&abe.pdf>

坂野鉄也、「実用」の意味するところ：東京高商・東京商科大学商学専門部の英語教育における神田乃武の“culture”、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.252、2016、pp.1-14

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No252.pdf>

長志珠絵、書評『奈良女子高等師範学校とアジアの留学生』、女性史学、査読無、No.26、2016、pp.122-124

阿部安成、今井綾乃、彦根高等商業学校の始まりの始まりへ(2完)、彦根論叢、査読無、No.407、2016、pp.140-145、147-150

坂野鉄也、【資料目録】文書綴「昭和24・10~28・7新制大学実状調査関係書 経済学部」、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.241、2015、pp.1-4

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No241.pdf>

阿部安成、ズヴィカーアの番人たち：『公文書管理と情報アクセス』を読もう、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.238、2015、pp.1-51

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No238.pdf>

坂野鉄也、【資料目録】文書綴「昭和廿二年五月起 滋賀大学昇格関係書類」、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.237、2015、pp.1-13

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No237.pdf>

阿部安成、ズヴィカーアの使徒たち：『大学アーカイブの世界』を読もう、Working Paper Series(滋賀大学経済学部) 査読無、No.236、2015、pp.1-52

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No236.pdf>

阿部安成、今井綾乃、彦根高等商業学校の始まりの始まりへ(1)、彦根論叢、査読無、No.406、2015、pp.114-115、117-124

阿部安成、今井綾乃、歴史財を活かす：「大学アーカイブ」をめぐる近年の動向から、滋賀大学経済学部研究年報、査読無、Vol.22、2015、pp.91-93、97-106

http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/nenpo/Vol22_2015/abe&imai_vol22.pdf

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計1件)

長志珠絵、史料蒐集と植民地 — 『朝鮮史』史料探訪「復命書」を中心に、桂島宣弘ほか編、東アジア 遭遇する知と日本：トランスナショナルな思想史の試み、文理閣、査読無、2019、pp.213-237

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等： 国立公文書館アジア歴史資料センターとのシステム連携により、滋賀大学経済経営研究所が所蔵する、彦根高等商業学校が収集した「旧植民地関係資料」の検索をインターネット上で可能とした(<https://www.jacar.archives.go.jp/aj/meta/default>)
史料展示： 企画展「高商教官：国際的ノ新近江商人ヲ養成スル」(2016年7月11日～同年12月22日、滋賀大学彦根キャンパス総合研究棟しごだい資料展示コーナー)

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名： 江竜 美子
ローマ字氏名： ERYU, Yoshiko
所属研究機関名： 滋賀大学
部局名： 経済学部
職名： 助手
研究者番号(8桁)： 50242970

研究分担者氏名： 長 志珠絵
ローマ字氏名： OSA, Shizue
所属研究機関名： 神戸大学
部局名： 国際文化学研究科
職名： 教授
研究者番号(8桁)： 30271399

研究分担者氏名： 菊地 利奈
ローマ字氏名： KIKUCHI, Rina
所属研究機関名： 滋賀大学

部局名： 経済学部
職名： 准教授
研究者番号(8桁)： 00402701

研究分担者氏名： 杉 岳志
ローマ字氏名： SUGI, Takeshi
所属研究機関名： 島根県立大学
部局名： 人間文化学部
職名： 准教授
研究者番号(8桁)： 40456306

研究分担者氏名： 坂野 鉄也
ローマ字氏名： BANNO, Tetsuya
所属研究機関名： 滋賀大学
部局名： 経済学部
職名： 准教授
研究者番号(8桁)： 90514620

(2)研究協力者

研究協力者氏名： 今井 綾乃
ローマ字氏名： IMAI, Ayano

研究協力者氏名： 横井 香織
ローマ字氏名： YOKOI, Kaori

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。